

# Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 兵庫県

### J・Cさん（母）

御基金には上の子が5歳、下の子が3歳の時からお世話になりました。来年で17回忌になります。入学時の給付金、映画チケット、図書カード等、多くの支援をありがとうございました。

下の子も春から大学生になり、自分の夢に向かっていきます。子どもたちの希望通りの進路に行かせてやれるのは、育成基金を利用することが出来たということが大きいと思っています。

子どもたちも運転免許を取得しました。命の重みと自分の行動の重要性を十分理解して安全に運転してほしいと思っています。

本当にこれで最後になりますが、長い間お世話になりました。基金の皆様もコロナ禍で大変な時だと思いますが、ご健康に留意されますようお願い申し上げます。

## 宮城県

### M・Kさん（母）

先日、育成給付金完了のお知らせをもらいました。娘と息子が2人ともお世話になり、安心してお願いすることができました。

高校卒業後、どちらも就職して今は自分でお金を稼ぐようになり、私も少し余裕が出てきたところです。子どもたちが小さかった頃は、精神的に全く余裕がなく、イライラして叱ってばかりで、子どもたちには嫌な思いをたくさんさせてしまったなど、申し訳なく思っています。そんな中、皆さんのご支援で金銭面ではとても助けていただき、本当にありがたと思っています。ダメな母親でしたが、子ども達の幸せを願う気持ちにウソはありません。

これからもこの事業が続き多くの皆さんの安心につながる事を願っています。本当にありがとうございました。

## 匿名希望さん（母） 匿名希望さん（加入者）

### ♡お母さまより

基金完了のお知らせとお祝い金をありがとうございました。つらい日々ではありましたが、交通遺児等育成基金様より給付、支援をいただき、お金の心配なく生活することができました。感謝しております。毎年のカレンダーやスマイルズも楽しませていただきました。本当にありがとうございました。

### ♡加入者さまより

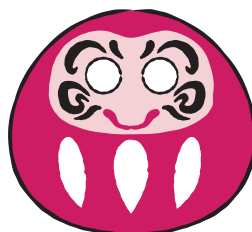
長年、育成基金を給付してくださり、本当にありがとうございました。私は大学入学後、コロナ禍ということもあり、一年で退学をしてしまいました。そのため、これからの進路について悩んでいましたが、新たな夢を見つけました。今まで給付してくださったお金は、その夢を実現するために使わせていただこうと思います。今まで本当にありがとうございました。

## 埼玉県

### H・Yさん（祖母）

この度は橋本給付金をありがとうございます。事故から約2年半、孫との生活にも慣れてきました。当時と変わらずまだ娘が亡くなった事に心は病んだままですが、少しずつ孫と一緒に楽しめるよう願っている毎日です。

図書カード、給付金、大切にに使わせていただきます。



## 福島県 S・Hさん（母）

基金無事卒業のお手紙をいただきました。これまでの物心両面に渡るご支援に感謝の言葉しかありません。

息子はコロナ禍のなか大学生となり、関西に行きちょうど1年となりました。入学式は中止、授業のほとんどはオンラインとなり大学生になった実感もなく離れた地方でさぞかし苦勞しているのかと思いきや、コロナ禍の今だからできること、今でもできることの方に着眼し、前向きに大学生活を送っております。これも基金のおかげと、心身ともに大きく成長してくれたと感謝しております。お世話になりました。

## 岐阜県 N・Sさん（祖父）

先日は育成給付金終了のお知らせをありがとうございました。長い年数、お世話になりました。

娘が交通事故で亡くなり、当時5歳と3歳の2人の孫を引き取り育ててまいりました。おかげ様で今日まで元気に育っており、ありがとうございました。

## 茨城県 O・Hさん（母）

この度は給付完了のお知らせをいただきありがとうございました。おかげ様で当時5か月だった娘は、今年大学へ入学することができました。

主人が亡くなり、思い描いていた未来が見えなくなって不安でいっぱいの方にこちらの基金を知り、スマイルズなどで同じような境遇の方々が強生きていることを知り、私も前向きに生きていくことができました。いまはコロナ禍で集いなども難しい状況になってしまいましたが、収束しましたら、また加入者の方たちが元気に集まれることを祈っております。

長い間ありがとうございました。19年…長かったです。思い返せばあっという間でした。お世話になりました。心から。

## 大阪府 S・Jさん（母）

この度は橋本給付金及び図書カードをお送りいただきありがとうございます。

コロナ禍で生活環境が一変し、日常生活、学校生活で色々な不安を抱えております。そんな中、貴基金よりあたたかいご支援をいただき、とても喜んでおります。入学時の不安を一掃してくださいました。また、いつも様々な行事やご支援をありがとうございます。母娘で楽しみにしております。今後ともよろしく願いいたします。

## 埼玉県 M・Iさん（加入者）M・Iさん（母）

❀加入者さまより

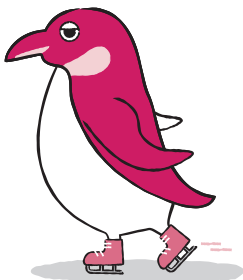
基金のお世話になっていることは母から聞いていました。兄弟3人が自分たちの希望通りに進学できたのも基金のおかげだったのだと、改めて感謝しております。

この4月から大学生になり、慣れないことも多いですが、充実した学生生活を送りたいと思っています。今回お送りいただいた図書カードや給付金はテキストや交通費等へ充てたいと思います。今までありがとうございました。

♡お母さまより

基金完了のお知らせとお祝い金等をいただきありがとうございました。当時お腹の中にいた次男が19歳になり貴基金から巣立つこととなりました。小さい子たちを抱えた私にとって、給付金は大きな支えとなりました。

基金からの卒業は寂しいですが、これからも子どもたちと力を合わせて頑張りたいと思います。長きに渡り大変お世話になりありがとうございました。



# となりのレターズ

みんながとなりに寄り添う「もう一つ」のLetters

「となりのレターズ」第2回目は、保護者の皆さんの体験談を紹介させていただきます。突然、遺族となり、子育てをするなかでさまざまな問題に向き合われた保護者の皆さんの体験談を知ること、いま抱えている不安や心配ごとを乗り越えるヒントを見つけていただければ幸いです。昨年、加入者の皆様にご協力いただきました「基金に加入してよかったこと」のアンケート結果とともにお届けします。

### 第2回 保護者体験談&アンケート編

### 皆さんの体験談とアンケート結果をご紹介します！

#### 遺族になっての体験談

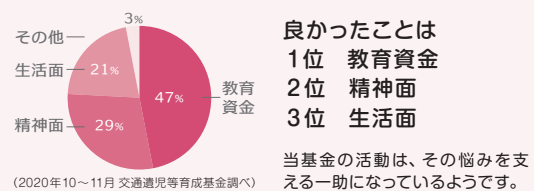
- 周囲のほとんどの方は、今まで通り温かく接してくださって、本当にありがたかったですが、一部の方が好奇の目で見たり、想像で事実無根のウワサをされたことが悲しかったです。でも、そういう方には、何を言っても通じないので、相手にせず気にしないようにして過ごしました。
- 事故直後、「どうしてうちにはお父さんがいないの?」と問う、幼い子どもの言葉に答えることの難しさに悩みました。「天国にいるんだよ」と言うと、子どもも「天国に行きたい」と言うのですが、否定せず「そうなんだね」と言って話を聞くようにしています。
- 遺族になるまでは専業主婦でしたので、生活面が不安でした。でも、子どもが高校を卒業するまでは義父母と同居して、生命保険や遺族年金でなんとか乗りきりました。

#### 子育ての悩み体験談

- 反抗期はひとりでは手に負えず、夫のいないことを痛感しましたが、難しい時期を過ぎてしまえば、子どもも気づきがあったのか、落ち着いて、言動が変わってきました。必ず終わりが来ると思って耐えましょう。
- 夫が亡くなったことで、小4の娘がひとりで何もできなくなりました。私は仕事に就きましたが、あえてパートタイムにして、娘が学校から帰ったときに私が家にいるようにしましたら、徐々に落ち着いて、いまは元気です。
- 夫が亡くなってから、子どもに「弟か妹がほしい」と言われて苦しかったです。その問いへの答えではありませんでしたが、「ママはあなたがいれば幸せよ」と伝え続けました。

#### 基金に加入して良かったことを聞いてみました！

同時に取ったアンケートによると、「交通事故遺族で困ったこと」は1位が精神面、2位が生活面、3位が経済面でしたが……。



- 同じ立場の友人と出会えて、気が楽になった。
- 教育資金が最低限保証されてよかった。
- 同じ境遇の人が頑張っていることを「スマイルズ」で知り、とても勇気づけられた。
- 希望する大学へ進学させてやれた。
- 経済的に助かったので、心に余裕が生まれて、子どもにしっかり接することができた。
- 進学時に、クラブ活動などで初期費用がかさんだが、橋本給付金の支給によって助かった。

#### 〈編集部より〉

加入者の皆さんからの体験談はいかがでしたか？ 体験談を読ませていただき、辛いことがあってもできるだけ前向きに考え、焦らずに時を重ねていらっしゃる方が多いのだと実感しました。また、アンケート結果からは、当基金も皆様のお役に立てていることがわかり、スタッフ一同ホッとすると同時に、これからはお役にたてるよう頑張りたいと心を新たにしております。**このコーナーでは、今後も皆さんのお便りを募集していきます。取り上げてほしいテーマがございましたら、ぜひお気軽にご意見をお寄せください!!**

沢山の声をいただきました中より抜粋して掲載しております。紙面の都合上、質問項目や、お寄せいただいたご意見、ご要望の全文は掲載できませんこと、ご了承ください。

送り先：「スマイルズ・基金だより」編集部  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル7階（公財）交通遺児等育成基金内  
MAIL: smiles@kotsuiji.or.jp FAX: 03-3237-8931